

2010年9月6日

電気化学工業株式会社

「デンカIP®」シンガポール新プラント建設のお知らせ

電気化学工業株式会社（社長：川端世輝）は、AS樹脂やABS樹脂の耐熱付与材であるスチレン系共重合樹脂「デンカIP®」製造プラントを、2012年4月稼動を目指してシンガポールに新設することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は千葉工場に「デンカIP®」年産1万6千トンの製造設備を持ちますが、中国やインド、中東諸国などの自動車市場の成長に伴い、自動車内装材向けなどの好調な出荷のためフル稼働の状況にあります。今後も本製品の更なる需要拡大が見込まれるため、この度のプラントの新設を決定致しました。付加価値の高いスチレン系製品の強化と共に、中国を中心としたグローバル市場における販売の拡大を目指します。

1980年代始めにシンガポールでアセチレンブラックの生産を開始以来、当社は、溶融シリカ、ポリスチレン樹脂、MS樹脂、SBC樹脂へと業容を拡大し、同地が持つ物流や関税、原料コストなど様々な有利な条件を活かして世界各地に製品を出荷しています。今回の建設用地は既に確保しており、IPプラント新設により当社重要戦略である海外事業の強化に取り組んでまいります。

1. 製品 「デンカIP®」（スチレン-Nフェニルマレイミド系共重合樹脂）
2. 生産能力 2万トン／年
3. 建設地 シンガポール（Seraya Plant：Denka Singapore Pte. Ltd.）
4. 稼動時期 2012年4月（予定）
5. 投資額 約30億円

【本件に関する問合せ先】

スチレン事業部 スチレン事業企画部 : TEL 03-5290-5563
IR・広報室 : TEL 03-5290-5511

参考資料

1. 「デンカ I P®」の用途

自動車・家電等向け耐熱ABS樹脂の耐熱付与材
各種エンブラのアロイ用相溶化材、ほか

2. 「デンカ I P®」の特長

- ・ 当社の独自技術により開発した耐熱性や熱安定性に優れたマレイミド成分含有のスチレン系共重合樹脂。
- ・ AS樹脂によく相溶するため、コンパウンドでAS樹脂やABS樹脂へ添加する簡便な生産方法により耐熱性を向上させることが可能。
- ・ 反応基を有するため、各種エンブラのアロイ用相溶化材として用いることで耐熱性付与や衝撃強度向上等に寄与する。
- ・ 「デンカ I P®」で設計された耐熱ABS（マレイミド系耐熱ABS）は、従来の α -メチルスチレン系耐熱ABSと比較して次の優位性を有する。
 - ① ガラス転移温度が200℃と高いため、少量の添加で高い耐熱性を持った樹脂設計が可能。
 - ② 熱安定性に優れており、配合されたマレイミド系耐熱ABS等は成形加工時の金型腐蝕の原因となるガス発生が少ない。
 - ③ 耐熱性能や易コンパウンド性能等の優れた特長を活かした、豊富なラインアップ有している。
 - ④ α -メチルスチレン系樹脂はフェノール生産時の副生物であり供給が不安定であるのに対し、「デンカ I P®」は目的生産品のため、安定的な供給が可能。



デンカ I P®



実用例：自動車インナーパネル

以上